

十時半睡事件帖 觀音妖女 白石一郎



あらとまち
荒戸町

みなとまち
湊町

いざき
伊崎

だいえんじまち
大円寺町

ちぎょうまち
地行町

いなばまち
因幡町

はるよしまち
春吉町

かがみちょう
鏡町

ちゅうげんまち
中間町

どいまち
土居町

ごふくまち
呉服町

くらもとまち
蔵本町

みせやまち
店屋町

あみばまち
網場町

いわしまち
鰯町

やなぎまち
柳町

はまぐちまち
浜口町

かやのどうまち
萱堂町

じちゅうまち
寺中町

すぎきまち
須崎町

なかじままち
中島町

にしこしょうまち
西小姓町

ごくらくじまち
極楽寺町

ろうにんたに
浪人谷

じぞうたに
地藏谷

おおのこたに
大鋸谷

するがだに
駿河谷

ちやえんだに
茶園谷

なかがわ
那珂川

いしどうがわ
石堂川

のこのしま
能古島

ほうまんざん
宝満山

さんぐんさん
三郡山

せふりさん
背振山

いたやむら
板屋村

しいばとうげ
椎原峠

とどきはんすい いち えもん そうめつけ おりえ
十時半睡 (一右衛門 総目付) 一織江 (亡き妻)

やしちろう きちたろう
弥七郎 (息子 勘定方) 一お夏 (妻)、吉太郎 (息子)

ぎはち ごすけ さいち
儀八 (若党)、伍助 (若党)、左市 (下男)

まつばらとうじゅうろう てらだかんざえもん
松原藤十郎 (目付)、寺田勘左衛門 (目付)

りょうあん
良庵 (町医者)

くろだしゅぜんはるゆき
黒田主膳治之 (藩主)

のむらげき つきなりさぶろうたゆう
野村外記 (家老)、月成三郎太夫 (中老)

おおまがりかくのしん おうままわりぐみ
大曲角野進（御馬回組）

だいはちろう
大八郎（息子）一きぬ（嫁）

なかいたろう ざえもん おうままわりぐみ
中井太郎左衛門（御馬回組）

しまうちらのすけ おうままわりぐみ
嶋内内蔵助（御馬回組長崎聞役座）

しかうちでんない おうままわりぐみ ひで
鹿内伝内（御馬回組山奉行）一お秀（妻）

こおりかたかきやく ふさ
伝八郎（長男 郡方書役）一お房

でんぞう えい
伝蔵（次男）、お栄（長女）

いまむらたもん こおりかたもとじめやく
今村多聞（郡方元締役）

のだいちごろう ごじょうだいくみ
野田市五郎（お秀の弟 御城代組）

とみたいち べえ おうままわりぐみ
富田市兵衛（御馬回組浦奉行）

またいち しな
又市（中間）、お品（妾）

たるいきんだゆう おうままわりぐみ
垂井金太夫（御馬回組寺社奉行）

うらがみしゆめ おうままわりぐみ
浦上主馬（御馬回組郡奉行）

いのうえけんもつ おうままわりぐみ
井上監物（御馬回組宗旨奉行）

ちくぜんやごへえ
筑前屋五兵衛（廻船問屋）

きりやまたつのすけ たま
桐山辰之助（無足組御城番）一お珠（妻 花房の次女）、茂助（下男）

はなふさぶ ざえもん おおくみこおりかたもとじめやく しちくろう
花房武左衛門（大組郡方元締役）、七九朗（息子 お珠の弟）

しげまつたてわき
重松帯刀（酔仙塾 学者）

やのまたへい ひころく
矢野又平（橋口御門 門番足軽）一きち（妻）、彦六（息子）

かさいごんくろう
香西権九郎（足軽頭）

はかたはちろう べえ はち べえ やはち
博多人郎兵衛＝八兵衛（魚問屋）、弥八（息子）

やまのぜん べえ はかたねんぎょうじ
山野善兵衛（呉服商 博多年行司）

かつらぶんご
桂文吾（御城番）一お玉（妻）

おまち（深川門仲町 料亭笹川の娘）

あさかさいち おうままわりぐみ いちたろう
浅香左市（御馬回組）、市太郎（弟）

はらだぐん べえ ごじょうだいくみ おくらばん
原田軍兵衛（御城代組 御蔵番）、ぎん（母）

はやせいおり
早瀬伊織（御蔵番見習い）

かじやまこへえ おくらばん
梶山小兵衛（御蔵番）